

主な新聞の『昭和天皇実録』公開報道（2014年9月9日朝刊）

（2014年9月9日「内野光子のブログ」）

新聞名(9/9)	一面見出し	社説見出し	その他の記事	発言者など
読売新聞 (昭和天皇 実録取材班)	軍暴走への抵抗克明 に	社説・史実解明 への情報公開を 編集手帳 「チャンネルを まだ回してたこ ろだつた家族は 丸く小さく座つ た(目黒哲朗)」	・沖縄訪問望み続け(石原 信雄元官房副長官に聞く) ・実録残された謎～マッカ ーサー会見、靖国参拝見送 り ・「ある一日の」記述から ・実録から見た 付年表～ 青年期、柳条湖事件、陸軍 将校反乱、真珠湾攻撃、終 戦、憲法、復興 ・平和・祈り 和歌に託す ・識者はこう読む～波乱の 生涯あざやかに、3人に聞く (御厨貴、岡野弘彦、秦郁 彦) ・孫の壬生基博さん語る ・生き生き少年時代	石原信雄 御厨貴 岡野弘彦 秦郁彦 所功 9月10日から大 型特集「天皇の昭 和」連載
東京新聞 白井康兆 水谷孝司 蒲俊哉 小松田健一 荘加卓嗣 石井紀代美	開戦回避できず苦悩 ～沖縄占領継続望む 後年、贖罪の意深 く	社説・未来を考 える歴史書に 解説・出典公開 なら新事実も (水谷孝司) 筆洗 新憲法論議に沖 縄県民選挙権停 止で声届かず	・戦争責任抑制的に 官製「正史」に限界も ・激動の時代軌跡を追う 対談・歴史ひもとく鍵・付 年表(半藤一利・古川隆久) ～全体、幼少時代、2・26、 太平洋戦争、戦争責任、歴 史の検証 ・墨塗りなし直ぐ公開 ・人間天皇克明に ・元侍従メモ「実録」外の エピソード(中村賢二郎) ・歌に浮かぶ昭和天皇の思 い(岡野弘彦)	半藤一利 古川隆久 岡野弘彦 原武史 古関彰一(引用) 三木由希子
毎日新聞 真鍋光之 古関俊樹 野口武則 竹之内満 丸山進 田中裕之 伊藤智永 山田奈緒	「富田メモ」を追認 ～靖国参拝経緯	社説・国民に開 く近現代史に 火論・「実録」の 行間から(専門 編集委員玉木研 二) 余録：引用歌 「戦の最中も居	・クローズアップ2024・出 典の曖昧さ残す ・若き帝修養の日々 ・世相と共鳴若き日の歌(大 井浩一) ・万策尽き「聖断」へ付年 表～軍との確執深刻化 ・座談会「正史」何学ぶか (五百旗頭真、保阪正康、 井上寿一)	吉田裕 五百旗頭真 保阪正康 井上寿一 岡野弘彦 原武史 古川隆久 9月11日より コラム「キーワー

		間にほまれの高き君が像をかざりゐたりき（昭和天皇）」	・断続と継続の戦後～「お言葉」外交の虚実 ・記録照合に力注ぐ（編修課長岩壁義光）	ドで読む昭和天皇実録」連載
朝日新聞 島康彦 中田絢子 宮代栄一 北野隆一 塩倉裕 石田祐樹 上林格 河野通高 藤井裕介	昭和天皇の動静克明 新資料や回顧録の 存在判明	社説・歴史と向き合う素材に 「戦争と平和」の日々詳細に（元編集委員岩井克巳） 天声人語：末尾「(実録は)遠ざかる昭和をつなぎとめる、一つのがよすがでもある」	・映し出す昭和史の断面 激動の87年描く（写真集） 昭和天皇の生涯・年表～八つのテーマから（2・26、開戦、終戦、日本国憲法、退位、マッカーサー会見、沖縄、家族） 専門家三氏語り合う（保阪正康、加藤陽子、原武史） 昭和実相の思い	三谷太一郎 古川隆久 保阪正康 加藤陽子 原武史 山田朗 豊下櫛彦 石原信雄 太田昌秀 村山富市 安田公寛 橋本大二郎 初音映莉子